

## 大学生にとってのジオパークのイメージ：長崎県の事例 Image of geopark for university students: a case report of Nagasaki Prefecture

植木 岳雪<sup>1\*</sup>  
UEKI, Takeyuki<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 千葉科学大学危機管理学部

<sup>1</sup>faculty of Risks and Crisis Management, Chiba Institute of Science

九州、長崎県にある島原半島ジオパークは、2008年に日本ジオパークに、2009年に世界ジオパークに日本でもっとも早く認定され、日本のジオパークの嚆矢である。しかし、島原半島ジオパークという名称を聞いたことがない大学生は多く、長崎県内における認知度は決して高くない。

2012年から2014年まで3年間、長崎県立大学の自然地理学の授業でジオパークを取り上げ、島原半島ジオパークのジオサイトを巡る野外活動を行った。そして、各自でジオサイトを発掘し、それを解説するレポートを課した。レポートは、3年間の合計で250枚以上になる。本講演では、大学生が発掘したジオサイトをテーマ別にまとめ、大学生にとってのジオパークのイメージを明らかにする。

キーワード: ジオパーク, ジオサイト, 自然地理学, 大学生, 長崎県

Keywords: geopark, geo-site, physical geography, university student, Nagasaki Prefecture